

# 平成 26 年度事務事業評価調査

事業コード	04020311	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	農道舗装及び用水路整備事業	担当部署名	地域振興課
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明
		内線	455
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	04観光・産業・地域振興	02農林業の振興	03遊休農地の解消
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( 年度～ 年度)		実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—
		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>老朽化などで破損した農道水路を整備するにあたって一部を補助するもの。</p> <p>②内容</p> <p>整備事業に係る、原材料費を補助する。</p>	<p>村内における農道及び水路の施設を利用する5人以上の受益者団体。</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたい)(4)事務事業を進める上での課題や問題	
<p>農業用施設を整備することにより、営農がやりやすくなるとともに、遊休農地の増加に歯止めを掛ける。</p>	<p>労力については、受益者で提供してもらうため、高齢化や担い手不足で事業が進みにくくなることが考えられる。</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	1,000	1,000	1,115	1,000	1,000			
財 源 内 訳	国庫支出金	0						
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源	1,000	1,000	1,115	1,000	1,000			
人件費								
一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20			
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,109	1,178	1,178	1,178	1,178			
総コスト費(千円)(A+C)	2,109	2,178	2,293	2,178	2,178			
人口あたりコスト(円)	348	359	378	359	359			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	事業実施団体	団体	20	15	75%	20	20
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 75% / 1 = 75% (A)

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	農業者の要望に対応している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	要望に対応できる補助額を支出できている。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	予算どおり計画的に事業が進められている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	公平性を保つため補助率が一定である。

○事務事業評価値 16 / 16 100% (B)  
(①~④の合計/16)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
75%	100%	88%	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
気象状況による災害時等の緊急の補正対応が必要。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
農業者の要望に対応できており、引き続き実施していく必要があると考える。また、労力については受益者負担のため、今後高齢化に伴う労力の問題について検討する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
/	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
農業者の要望に対応できており、引き続き実施していく必要があると考える。また、労力については受益者負担のため、今後高齢化に伴う労力の問題について検討する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止